

令和5年2月24日

大東市長 東坂 浩一 様

大東市産業振興市民会議  
会長 山田 茂

### 大東市産業振興市民会議からの中間報告について

大東市産業振興市民会議では、本市産業振興の方策について各委員が議論を重ねてきました。

本日、下記のとおりご報告させていただきます。

### 記

1. 今期（令和4年度・令和5年度）の大東市産業振興市民会議について
  - ・令和元年度で議論していた「10年後の大東市の産業振興について基本指針」について継続して議論し策定する。（令和2～3年度は新型コロナのため未開催）
2. 令和4年度（全4回）の内容について
  - ・今期2年間で10年後の大東市の産業振興について基本指針を策定することを再確認
  - ・コロナ禍を受けての変化を議論
  - ・人をキーワードに議論
  - ・10年後の大東市の産業振興についてスローガンを決定
3. スローガン  
“輝く未来に大投資！個性を育む大東市！”
4. 委員からの意見（抜粋）  

スローガンについて

  - ・人がつながり、育ち、輝く、その先に大東をつなげながら産業振興につながるものになりたい。
  - ・投資するのは金だけではない。人の投資もある。
  - ・自分に投資されていると 感じると嬉しい。お金以外も含めると育むということも入っ

てくる。投資しようと思う人は絶対に輝いている人で、キラリと輝くというところにつながっている。

- ・市民が投資されるではなく、大東市に外から人や金が集まるような投資。
- ・若者から高齢者、女性、障害者を含めて、多様な人がいきいきとやりがいを感じながら働いている、を大東市の産業振興のビジョンのキーワードに入りたい。
- ・短期的な売上や利益の目標達成にとどまらず、10年先を見すえた中長期ビジョンを社内で共有し、市場創造と不断の経営革新に取り組み、地域で計画的に社員を採用し、採用した社員が、その企業が培ってきた技術やサービスを習得して生き生きと活躍する企業であるとともに、地域から信頼され、地域に貢献できる企業

#### 10年後の未来について

- ・特徴を持っている強い企業が点在している印象。企業の個性を伸ばすようなもののほうが良い。
- ・大東市の特徴として女性にパワーがあると思う。
- ・住工が共存し、様々な商売を行っている者が繋がり合い、大東市だけで全て完結するような団結力を持った、皆で楽しく住めるようなまちづくり。

#### FactorISM（オープンファクトリー）

- ・人材不足は大東市だけの問題ではなく各地域の問題だからこそオープンファクトリーでは自分の工場を見せて地域で盛り上がりを見せようということになっている。
- ・オープンファクトリーの本当の目的は20年先の壮大な未来を見据えた求人活動。
- ・つながりはキーワードとなる。企業のつながりならオープンファクトリー。

#### 4. 令和5年度のスケジュール（案）

|            |                              |
|------------|------------------------------|
| 第1回会議（6月）  | 基本指針のテーマ決定・テーマ別議論            |
| ↓          |                              |
| 第2回会議（7月）  | テーマ別議論<br>（素案作成）             |
| ↓          |                              |
| 第3回会議（9月）  | 素案を基に意見交換<br>（素案修正）          |
| ↓          |                              |
| 第4回会議（11月） | 基本指針（案）を基に再度意見交換<br>（基本指針作成） |
| ↓          |                              |
| 市長提言（2月）   | 基本指針を提言                      |